

世界の人とふれあいたいし



メキシコ合衆国
Estados Unidos Mexicanos

実施日：3月12日(日)
会場：学園都市センター

今回ゲストのモレノ・デニッセさんは2015年に来日し、東京外国語大学で日本語を学び、現在は首都大学東京で大学院生として臨床心理学を学んでいます。将来の希望は、日本に住んで子どもたちを助ける仕事をしたいそうです。当日はメキシコの民族衣装で登場。民芸品やお



持参の民芸品

もちゃなどをたくさん持参されたので、休憩時間には皆で鑑賞して楽しみました。

メキシコの地図上の位置を確認して、31の州と首都：メキシコ・シティを紹介しました。

人口は約1億2千万人で日本とほぼ同じですが、言語は共通語のメキシコ風スペイン語の外に、アステカの言葉であるナルフト語が約155万人で話され、69種のネイティブ語(部族語)があります。

国旗は緑色(森・草原) 白色(平和) 赤色(戦争で流した血)で構成され、国章はメヒカ神の太陽神を中心にサボテン・オーク・ラウレルで囲まれています、国鳥はイヌワシ、国花のダリアは5千種以上あります。季節は日本と同じで、春・夏・秋・冬があり、ジャカラランダの花の並木道はとてもきれいです。



首都メキシコ・シティ

宗教はカトリックで、お祭りは「マリアの行列」が有名です。ゆるキャラはLupita(ウパルパ)です。



祭礼「マリアの行列」

メキシコから日本に輸出している品物は、果物・野菜では、パイナップル・アボガド・トマト・カボス、肉は牛・豚・鶏・生ハム、お酒はテキラ(銘柄は色々)、魚はマグロ(ツナ缶)・エビ・タコで、タコは美味しいです。



Lupita「ウパルパ」

メキシコの国土は温帯林・放牧地・砂漠・低地ジャングル・高地ジャングルに分かれます。砂漠には、蛇、サソリ、クモ、小鳥(ロードランナー)、ウサギ・カメ・砂漠狐・コヨーテ・山羊が生息し。ジャングルには、オウム・アルマジロ・豹・オランウータン・アマガエルが生息し、放牧地には、モルモット・ウサギ・ワシ・イノシ



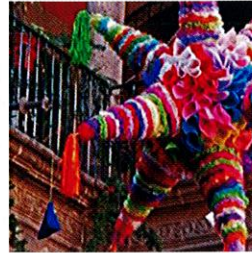
はちどり

シ・ブレリードッグが生息し、森林には熊・オオカミ・はちどり・山猫(クーガ)、鹿が生息しています。また、森林には遠くアメリカから越冬に飛来する蝶の王様(モナーク)もいます。

海・ビーチはとても美しい大ウミガメ・マンタ・サメ・ジュゴン・鯨・マグロがゆったりと泳ぎ、かわいいウパルパ(絶滅危惧種)なども生息ます。



蝶の王様(モナーク)



ピニャータ

伝統的なおもちゃは、こま・けん玉(バレロ)・ヨーヨー・ビー玉・魔法の木・人形などがあります。誕生日のパーティなどでは、ピニャータ(紙製の飾りの中にお菓子が包まれる)が飾られます。子ども達は棒で壊してお菓子を食べます。

9月16日は1810年にスペインから独立した記念日です。11月10日は1910年~1920年に続いた革命の記念日です。色々な民族衣装を着てお祝いを楽しみます。モレノさんはたくさんの鮮やかな伝統的な女性服を紹介しました。死者の祭り(11月1・2日)は日本のお盆に相当する行事で、死者を祀る祭壇や街は色鮮やかに飾られます。



死者の祭りの祭壇

結婚式は教会で行ないませんが、披露宴では新郎新婦を祝福するためにご祝儀を張り付けて踊る「お札のダンス」があります。音楽はとても盛んで、ギター、ベースギター、バイオリン、トランペット、フルート、ハーブとアコーディオンなどで楽団が組まれます。音楽に合わせて色鮮やかないろいろな衣装で陽気なダンスが行われます。



陽気なダンス

メキシコの有名人はノーベル賞受賞の詩人オクタヴィオ・パス(Octavio Paz)、映画俳優カンティンフラス(Canthinflas)、ディエゴ ルナ(Diego Luna)、サッカー選手エルチチャリト(El Chicharito)がいます。メキシコ料理は、有名なタコス、トルティーヤ、牛肉、鶏肉、豚肉、魚、羊、うさぎ、バッタ、サボテンのほかグアカモーレ、チョコレートなどがあります。

モレノさんは話のテーマごとに質問を受けました。話し手と聞き手がコミュニケーションを取り、楽しく話が進みました。最後に「街は現地のメキシコ人でも危ない場所もあるけれど、自分自身で十分気を付けて、危ないと感じたら近くのコンビニに逃げ込む」と明るく話された時は、メキシコと日本の治安の違いを肌で感じました。

アンケート結果も、「とても分かりやすい説明で、メキシコの事がよくわかった」と大好評でした。

(世界の人とふれあいたいタイム委員会)